

木のぬくもりをこども達へ

# 木もれ陽だより

2020.2  
Vol.53

幼稚園・保育園の木造園舎に特化した大和屋(株)がニュースレターをお届けします。

## 木と健康のおはなし

今回は「木と健康」をテーマにしたお話を紹介します！  
今年の冬もインフルエンザが流行していますね。インフルエンザの対策として、うがい手洗い、マスクの着用などがあげられますが、実は「木」もインフルエンザの抑制効果があるのをご存知でしょうか？

下の写真は、以前にもご紹介した大和屋フローリングのカビ実験です。



写真の左側2つが木ではないフローリング。  
右側3つが無垢フローリングです。

フローリングの切れ端と食パンを密閉容器に入れて、2週間後に撮影したのが下の写真。



木ではないフローリングと一緒に入れた食パンはカビが生えているのがわかります。

一方、無垢フローリングの方はまだカビが生えていません！

このような結果になったのは、木の調湿効果とフィトンチッドという抗菌作用成分のため。

実験では密閉容器内の話ですが、建物も同じです。  
木の調湿効果により室内の湿度が一定に保たれ、菌やカビを寄せ付けない成分により、インフルエンザの発生が少なくなったとのデータもあります。  
こういった観点から、病院内を木質化するところも少なくないようです。

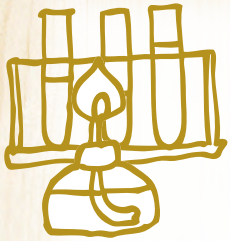


木にはほかにも「集中力が高まる」「落ち着く」といった作用もあります。

触るだけでも、その優しい肌触りに癒されますね。  
遠足で森に行ったり、内装を木質化したり、木製家具を入れたり、木工作をやってみたり、ぜひ、木とふれあう機会を増やしてみてください。

木造建築推進室(TEL:048-526-1002)でも  
ご相談を承りますので、お気軽にお問合せください。



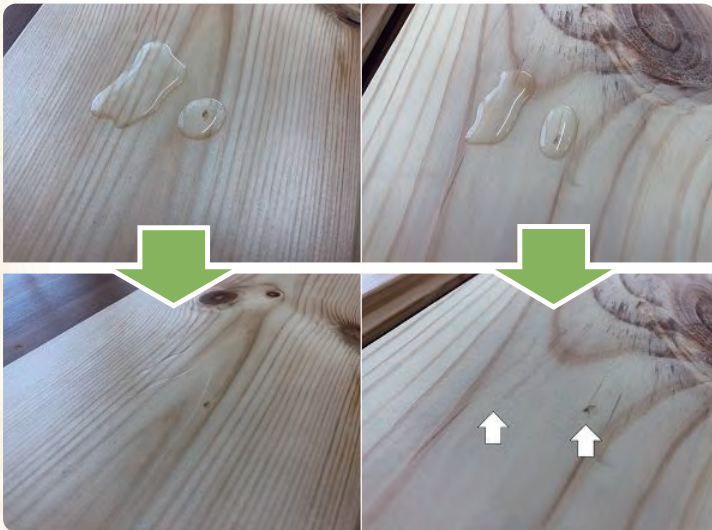


# 大和屋実験コーナー

～自然塗装とウレタン塗装～傷の補修Ver.

前回までのフローリングに、  
今度は傷をつけてみました。

左がウレタン、右がオイルです。  
傷の補修方法を行い、塗装に  
よってどれくらいの違いが出る  
のか実験です。



まずは木に水を含ませます。  
(※今回は分かりやすいように水滴を垂らして  
いますが、実際の傷の補修では水分を含  
ませたティッシュなどを置きます。)

そして待つこと4分。水滴を拭きとってみると…

ウレタンの傷は変化がありません。  
オイルは線状の傷が目立たなくなりました。

木は水分を含ませることによって、膨張し、  
多少の傷であれば目立たなくなります。

ウレタン塗装をした場合は、木の表面に膜を作る  
ので、木が吸水できなかつたと思われます。

次回は、傷の補修としてサンドペーパーで表面を削ってみた実験結果をご紹介します！



## 園舎を大七切にする方々へ

暖冬と言われた今季、暦の上ではもうしばらく前から春なのですが、未だ寒いと感じているのは私だけでしょうか……寒さにも暑さにも、人一倍敏感な大和屋木造建築推進室の川久保です。

さて、寒い寒いと言いつつも、あと一か月もすれば汗ばむ日も出て来ます。それで済めば、快適な気候と言えるのですが、その暖かさを大きく上回る暑さ・猛暑は地球温暖化の表れで有り、その影響により日本はもちろん世界各国で、様々な問題が引き起こされているのは、みなさんご存知の通りです。18世紀半ばから始まった産業革命以降、現代社会に至るまでの大量の化石燃料消費。また、地球規模と言っても異論は無さそうな、オーストラリアやフィリピンでの大規模な山火事、それらも一因となつての温室効果ガスの増加が、更に拍車を掛けています。私たちが生活して行く上で、ある程度は仕方がないと言わざるを得ない、その辺の問題も含め配慮しつつ、日頃の生活を送っていききたいものです。



大和屋は、そんな想いをベースに、エネルギー消費を極力抑えた上で、且つ快適な生活が送れる住まいを考え、研究を重ねて来ました。そして完成したのが、日本はもちろん世界でもトップクラスの性能を誇る、PASSIVE HOUSE「森の家」です。ドイツのパッシブハウス研究所による性能認定は、未だ日本には数件しか有りません。そして、その考え方や技術は木造建築推進室が考える、幼稚園・保育園の「森の園舎」にもしっかりと活かされています。ご意見・ご要望そしてご質問、お待ちしております。

大和屋株式会社 木造建築推進室 室長 川久保 尚